

# 社会性報告

## お客様とともに (1)

お客様の満足と信頼を第一に、お客様の期待に応えた製品・サービスなどの提供に努めています。

### 製品開発

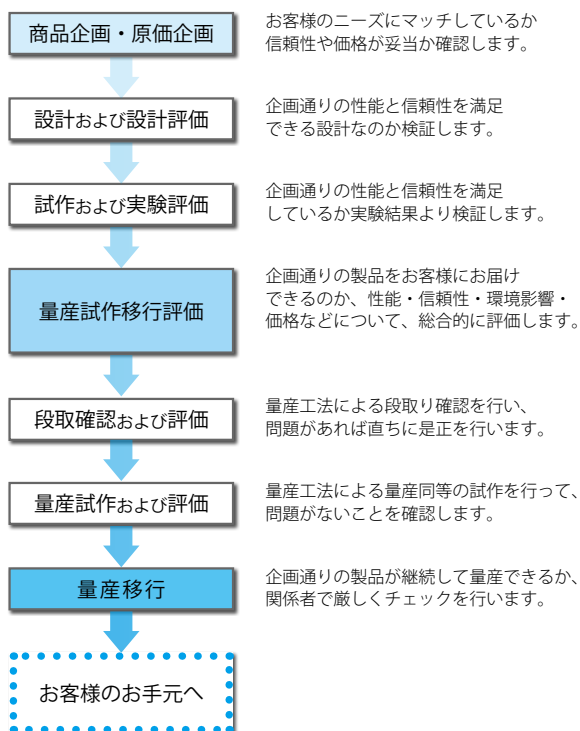
澤藤電機の開発部門は、持続可能な社会に貢献するために環境性能や電子化を軸とし、ニーズに応えた製品の開発にチャレンジし続け、トラック・バス用電装品、発動発電機、車載用冷蔵庫の分野で業界No.1の地位の確立と発展に邁進しています。



開発品の性能評価

### 開発プロセス

お客様に信頼していただける製品をお届けできるように企画を立て、本当に満足していただける性能・信頼性・価格なのか、厳しくチェックしながら開発を進めています。



### モノづくり

澤藤電機は、お客様に感動を提供できるモノづくりをめざして、日々挑戦しています。

その基本は『お客様の満足』の考え方のもとに、モノづくりに必要な「人・物・金」の資源を有効に活用することで、社会への貢献、環境との共生に努めています。

具体的には、「必要なものを、必要なときに、必要なだけ提供できる仕組みづくり」や「異常で止まるラインづくり」、さらに「徹底したムダの排除による原価低減」などの改革、改善を推し進めています。

また、「SAWAFUJI WAY」の行動原則から「コミュニケーション」と「チームワーク」を向上させ、「チャレンジ」と「ネバーギブアップ」で課題達成に努めています。「サワフジ小集団活動」「組長3Sコンクール」「安全・品質改善提案」「唱和」などの諸活動を展開し、働きやすい職場づくりと活性化でES向上を実現させています。



オルタネータ組み立てライン



シャフト加工ライン



組長3Sコンクール

## お客様とともに (2)

### 品質保証の取り組み

#### 基本的な考え方

澤藤電機は、品質保証体制を確立し、お客様に満足していただける商品を、安全・安心に提供するために日々取り組んでいます。

品質改善活動を展開するにあたり、「自工程完結による、お客様満足度向上」を基本方針としています。

また、モノづくりに携わっている者として、「仕事の進め方」を掲げ推進しています。

#### 「仕事の進め方」

- 1) 自工程完結  
良品しか作れないプロセスを構築。
- 2) 行動指針  
自ら考え、自ら行動、提案型体質へ。
- 3) 日程遵守  
決めたことを、決めた日程でやり切ろう。

#### 品質パネル展示会開催

全社・全員参加の活動として、品質パネル展示会を開催しています。「失敗を会社の財産にしよう！」を合言葉に、不具合事例とその再発防止を展示し、『なぜ不具合を出してしまったのか』『どう改善したのか』などを考える機会としています。展示の最後には、品質意識を高める施策として、「私の品質宣言」コーナーを設け、「私は丁寧な作業を心がけます」、「私は自分の工程に責任を持ちます」など、一人ひとりに紙に書いてもらい、貼り出しを行いました。



品質パネル展示会風景



自らの品質宣言を貼る来場者

### サービス体制と質の向上をめざして

#### 製品不具合への対応

澤藤電機は万一、製品に不具合が発生した場合、全国に8社10拠点ある代理店、242社ある特約店で構成されるサービスネットワークにて、速やかに対応する体制を整えています。また、海外向けの冷蔵庫・発電機についても同様に対応しています。

#### ■ 製品に関するお問い合わせ件数

(件)

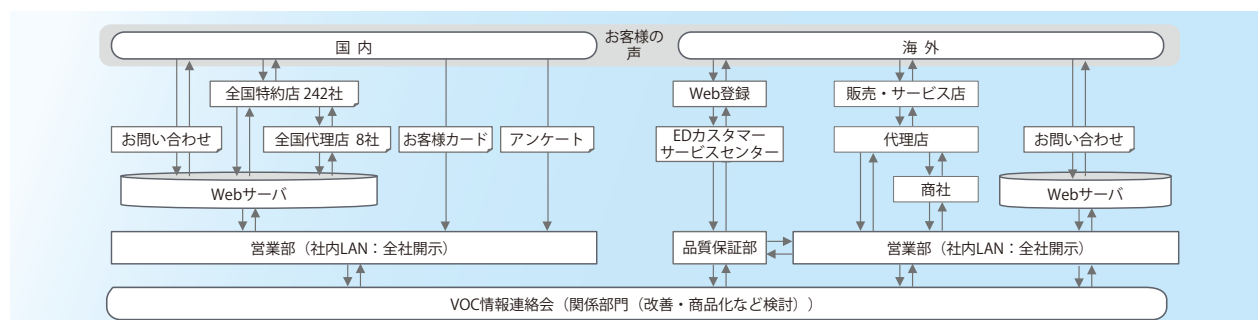
製品	2015年度		2016年度		2017年度	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
電装品	70	63	75	47	78	70
冷蔵庫	179	103	191	113	170	93
発電機	55	575	39	341	37	380
市販品	2	—	4	—	2	—
その他	93	48	95	51	113	59
計	399	789	404	552	400	602

#### お客様の声を生かす社内体制

お客様から寄せられる要望や意見を集約して製品・サービスに反映するとともに、各国拠点および全国代理店・特約店様を通じてのクレーム処理や技術情報などについても迅速・適切な対応ができる体制を整えています。Webからの「お問い合わせ」や、製品に添付している「お客様カード」、展示会でのアンケートなどから、お客様がより満足できる製品となるよう、営業・サービス・開発・品質保証などの関係部門がVOC（お客様の声）情報連絡会を通して改善を行っています。

また、お客様の個人の権利・利益を保護し、ご提供いただいた情報を適法かつ適正に取り扱うために、規程類を整備し、プライバシーポリシーを公表するなどの取り組みを行っています。

#### ■ お客様の声を生かす社内体制



## 地域社会とともに (1)

社会への参画と環境への配慮の側面から、地域社会・国際社会に貢献します。

### 社会貢献活動の考え方

- CSRの観点から広く社会に貢献する。
- 地域との良好な関係を維持し、共生を図る。
- 地域の一員として、住民とのコミュニケーションを深め、地域に役立つ活動をする。

### 社会貢献活動

#### 地域イベントへの参加

澤藤電機は、地域の皆様との交流を深めるため、地元太田市の近隣地区で開催されている花火大会やお祭りなどに協賛しています。

また、自社製品の特色を生かした地域貢献として、地域のイベントへ自社製品(発電機・冷蔵庫)の貸し出しを行い、ご好評をいただいています。2017年度は、近隣のお祭りや太田市主催のイベントへ発電機・冷蔵庫の貸し出しを行いました。



太田市主催のイベントにて  
会場内への電力供給(ELEMAX SHX7000DiS)

#### 地域美化活動

近隣の日野自動車株式会社 新田工場の工長会と合同で工場周辺および近くの早川公園の清掃を毎年行っています。



早川公園周辺清掃活動(2018年5月)

### 推進体制

社会活動推進分科会の事務局を総務人事部におき、「社会貢献活動」の考え方に基づく計画立案・推進活動を行っています。

#### エコキャップ活動

2008年8月より、ペットボトルキャップを分別回収することにより再資源化を促進するとともに、売却益で世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

集められたキャップはリサイクル業者により、樹脂パレットなどに再生利用されています。キャップの焼却をしないことにより、CO<sub>2</sub>の発生抑制にも寄与しています。

活動をはじめてからの10年間で届けることができたワクチンは1,408名分となり、累計のCO<sub>2</sub>削減量は8,876kgになりました。

#### ■ ワクチン提供人数、およびCO<sub>2</sub>削減量

年度	2015	2016	2017
人数(名)	136	124	136
CO <sub>2</sub> (kg)	862	781	862

#### 日本赤十字社への献血協力

社員による献血活動として、1976年から赤十字血液センターに協力をしており、現在に至る42年間で献血者数は延べ6,095名となりました。

年度	2015	2016	2017
献血者数(名)	90	86	95



献血車内での献血の様子

## 地域社会とともに (2)

### おおた・まちの先生 見本市出展

太田市内小学校体育館において、「第8回 おおた・まちの先生見本市」が開催され、澤藤電機も出展しました。この行事は行政や地域の企業、ボランティア団体が「先生」となり、子どもたちが環境やものづくり、ライフスタイルなどについて学ぶ場として実施されています。澤藤電機は、手回しでの発電体験のほか、冷蔵庫「ENGEL」を展示しました。また、発電機「ELEMEX SHX7000DiS」1台を屋外に設置し、会場内への電力供給を行いました。(2017年11月)



澤藤電機の展示ブース

### 福祉施設 ボランティア活動

日野自動車株式会社 新田工場の工長会と合同で、近隣の福祉施設の環境整備のボランティア活動を行っています。蛍光灯の清掃や植栽の剪定などのお手伝いを通じて、利用者の方々とのコミュニケーションを図っています。



剪定作業(2017年7月)

### 交通安全ボランティア

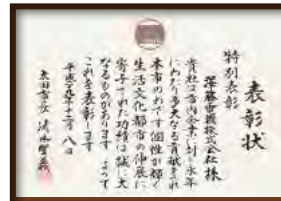
2011年より交通事故防止・撲滅に向け、会社付近の交差点で街頭監視の活動を実施しています。ドライバー、通行者に対して交通安全への意識づけを図っています。



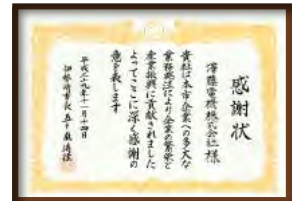
交差点での街頭監視活動

### 地域産業への貢献

地域産業に貢献していることが評価され、太田市、伊勢崎市よりそれぞれ産業振興貢献企業表彰をいただきました。それぞれ9度目の受賞となりました。



太田市産業振興貢献企業  
表彰状



伊勢崎市産業振興貢献企業  
感謝状

### 関連団体への参加

事業活動に関連する団体に会員として積極的に参加し、情報の共有化を図っております。

- 一般財団法人 地域産学官連携ものづくり研究機構
- 一般社団法人 群馬県経営者協会
- 一般社団法人 電気学会
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 一般社団法人 日本自動車部品工業会
- 一般社団法人 日本電機工業会
- 一般社団法人 日本陸用内燃機関協会 など

(五十音順)

## 株主・投資家様とともに

長期安定的な成長を通じ、企業価値の向上をめざします。

### 企業価値向上について

澤藤電機は、株主重視・顧客満足・社会貢献を実現するために、コンプライアンス、製品の安全、環境保全、安全・防災活動を含むリスク管理の徹底、内部統制体制の充実、企業倫理の向上、優秀な人材の確保と教育強化、社会貢献活動および適時適切な情報開示などに努め、企業価値向上を図っています。

### IR 情報について

澤藤電機は、株主や投資家の皆様に対し、事業活動の内容を、適時適切に開示することにより、当社に対する正しい理解を深めていただくことが重要であると考えております。

IR (Investor Relations) 活動の一環として、決算発表時に公表している資料とは別に、当社の活動について幅広くご理解いただけるように、当社の環境活動や新製品などのトピックスを掲載した株主通信を年2回、株主様にご送付させていただいております。

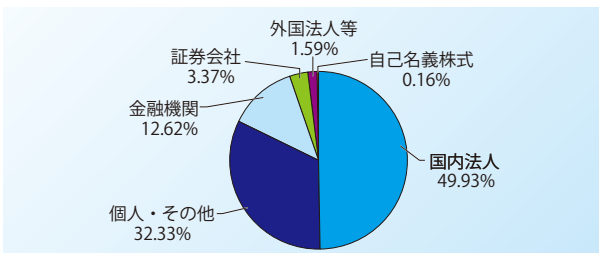
最新の決算情報、過去の報告書・財務データやIRスケジュールは当社ホームページ「投資家情報」のページに掲載しております。

### ■ 大株主[上位10位] (2018年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日野自動車株式会社	1,307	30.29
株式会社デンソー	400	9.27
本田技研工業株式会社	260	6.03
株式会社三井住友銀行	120	2.78
澤藤電機従業員持株会	118	2.75
SMBC 日興証券株式会社	80	1.86
株式会社三菱東京UFJ銀行	80	1.85
三井住友信託銀行株式会社	60	1.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	51	1.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口5)	41	0.95

(注) 持株比率は自己株式(7,008株)を控除して計算しております。

### ■ 所有者別株式分布状況(2018年3月31日現在)



## 代理店・特約店様とともに

信頼関係を築き、相互の発展・向上をめざします。

### 代理店・特約店様との協力

澤藤電機は、代理店・特約店様のネットワークを活用して、市販品、パーツ販売、市場情報収集、サービス体制構築などを行い、あらゆるシーンで代理店・特約店様とともに社会的な責任を全うするよう努めています。

### コミュニケーション

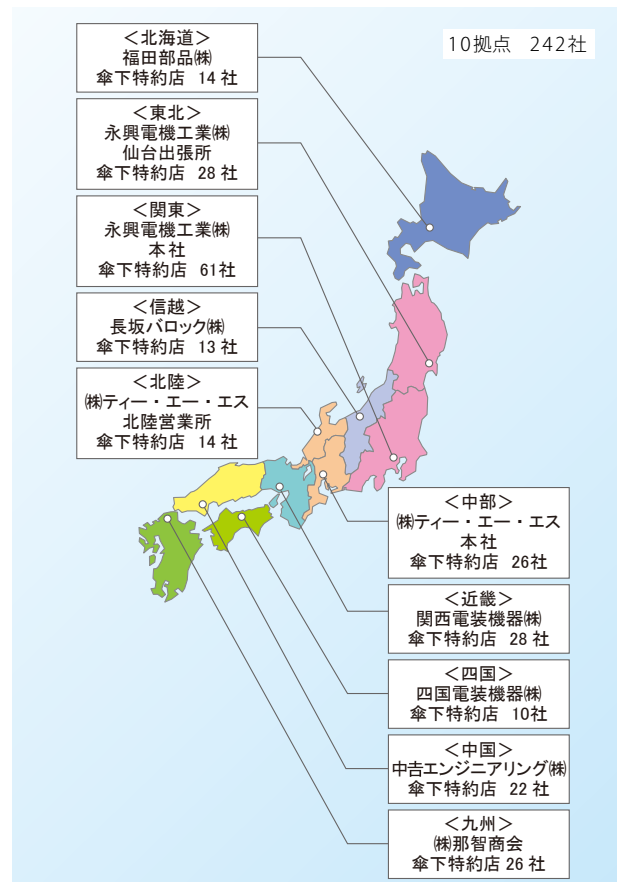
2017年度は、全国10拠点で会議を開催し、方針説明、コミュニケーション強化に努めました。

また、代理店・特約店様のサービス力強化のために、技術講習会も開催しています。



サービス技術講習会

### ■ 澤藤サービスネットワーク(2018年4月1日現在)



## 仕入先様とともに

公正性と透明性を確保し、信頼関係のもと相互の発展・向上をめざします。

### 調達の基本理念

澤藤電機は、取引のプロセスにおいてフェアであることを徹底し、品質、価格、納期などを総合的に判断し、最適な物品の調達を実行しています。そのために仕入先様を対等なパートナーとして尊重し、相互信頼、共存共栄を基本理念に信頼関係を築き、相互の発展・成長をめざしています。

### 調達の基本方針

最適な物品の公正・透明な取引と強固なパートナーシップ構築の実現のための基本方針として、仕入先様とのコミュニケーションを重視した調達活動を展開しています。

■ 調達における基本的な考え方

- ① 相互信頼に基づく相互発展
- ② 経営トップとの情報交換の徹底
- ③ パートナーシップの共有
- ④ 環境に配慮した「グリーン調達」の推進
- ⑤ 法令遵守と機密保持の徹底

### 仕入先CSRガイドライン

CSRの取り組みは、仕入先様と連携した取り組みが重要であることから、ISO26000の中核主題である「人権」、「労働」などの項目を含んだ「仕入先CSRガイドライン」を策定し、2012年6月に仕入先様へ配布いたしました。また、自主点検シートによる自主点検も実施中です。

### グリーン調達ガイドライン

国内、海外を含む仕入先様に対し、2009年8月に「澤藤グリーン調達ガイドライン」を発行しました。

澤藤電機は、環境に対して法規制、各得意先様の要求事項を満足する環境にやさしい部品の調達を仕入先様とともに実施しています。

### 仕入先様とのコミュニケーション

#### 調達方針説明会

仕入先様各社との連携強化を目的に、調達方針説明会を開催しています。今年度は仕入先様141社205名にご出席いただき、2018年度調達方針を説明いたしました。内容は、最重要課題である品質向上・原価改善についてご協力をお願いいたしました。さらに、2017年度の生産活動にご貢献いただいた仕入先様の表彰を行いました。



調達方針説明会(2018年3月22日)

#### 澤藤電機協会の 秋季研修会

仕入先様との相互研鑽を目的に、秋季研修会を開催しています。今年度は仕入先様75社112名、社内102名の合計214名が参加し、プロゴルファーの古市忠夫氏を講師に迎え、「頑張れる事への感謝」と題してご講演いただきました。また、吉川社長より当社の近況について説明いたしました。



澤藤電機協会  
秋季研修会  
(2017年11月16日)

#### 澤藤電機協会 工場見学会

澤藤電機協会会員企業の中堅社員の異業種交流を目的に、工場見学会を開催しています。今年度は、仕入先様47社51名にご参加いただき、ヤンマー株式会社 びわ工場とヤンマーミュージアムを見学し、会員の交流を深めました。



工場見学会  
(2017年9月8・9日)

#### 品質支援活動(仕入先様)

仕入先様の品質安定化と品質向上を目的として、品質管理部指導のもと、仕入先様とともに品質向上活動に取り組んでいます。2017年度も仕入先様の品質支援と未然防止活動および不具合事例の情報展開を実施し、着実に品質向上の成果を上げています。



仕入先様情報連絡会  
(2018年5月29日)

## 社員とともに (1)

社員一人ひとりの人格・個性を尊重し、職場の安全、社員の健康を守り、快適な職場環境を確保します。

### 快適職場の推進

働きやすい職場環境づくりは生産性・能率向上、社員モチベーション向上のために重要な活動であり、労使で取り組んでいます。2008年度には、厚生労働大臣より快適職場推進企業に認定されました。認定後も、さらなる向上をめざして活動を行っています。



澤藤電機は、法令で定められた安全衛生基準を満たすだけでなく、さらに良好な職場環境をめざして、自主的な計画に基づいて職場環境の改善に取り組んでいます。その一環として管理監督者を対象に、労務管理上の留意点(年休取得推進、過重労働抑制、労働時間管理)について労務管理研修を実施しています。

### 人事に関する基本的な考え方

澤藤電機は経営理念の中に、社員への貢献を織り込んでいるほか、企業の社会的責任の観点より、「①人材育成」「②働きがい、モチベーション向上」について取り組んでいます。

人材育成については、OJTやマネジメント教育による管理能力強化およびコア人材の育成(キャリアパス、若手抜擢)を、また働きがい、モチベーション向上については、人事評価制度、異動希望制度、表彰制度などの運用を行い、明るい職場づくり、コミュニケーションの向上に取り組んでいます。

### 雇用

#### 基本的な考え方

澤藤電機は安定した雇用のもとに、人材育成を重点に取り組んでいます。働きがいを感じる職場づくりと個人の成長をめざして、階層別、職能別、品質管理、環境・安全、自己啓発の5つのジャンルで人材育成に取り組んでいます。

#### 雇用の状況

直接部門、間接部門とも、大幅な雇用の変動はありませんでした。その中で、日々、業務効率化を遂行しています。

なお、働き方については、法令遵守を第一に正社員、有期雇用者ごとの就業規則を定め、労使委員会でチェック・フォローをしています。派遣社員については、厚生労働省の指針をふまえ、業務内容や契約期間などについて、当社と派遣会社で確認しながら適正な管理を行っています。

#### ■ 正社員の構成、平均年齢、平均勤続年数(各年度3月31日時点)

		2015年度		2016年度		2017年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
社員構成(名)	一般	505	68	495	75	477	85
	管理者	142	0	144	0	142	0
平均年齢		42歳10ヵ月	40歳5ヵ月	42歳10ヵ月	40歳6ヵ月	42歳10ヵ月	39歳4ヵ月
平均勤続年数		19年9ヵ月	20年1ヵ月	19年10ヵ月	19年0ヵ月	19年10ヵ月	17年4ヵ月

澤藤電機の在籍者数(出向者除く)

#### ■ 有期雇用者、派遣社員の推移(各年度3月31日時点)

年度	2015	2016	2017
有期雇用者(名)	121	118	146
派遣社員(名)	9	45	79

### 労使関係

#### 基本的な考え方

澤藤電機は社是に掲げた「労使協調相互信頼により明るい職場を樹立しよう」に則り、平和的労使関係を確立するために、労働組合と労働協約を締結し信義をもって遵守しています。

#### 労使協議

労働組合との円滑な労働協約の遵守を図るため、労使協議の場として労使協議会をはじめ、経営懇談会などの会議を定期的に開催して改善に努めています。

また、安全衛生委員会、労働時間等設定改善委員会などの各種労使委員会を開催し、法令に則った健全な職場環境を確保しています。



労使協議会

## 社員とともに (2)

### 人権尊重

#### 基本的な考え方

澤藤電機は、社員の人格・個性を尊重し、働きがいを感じる職場環境を実現するために制度を整備して実践しています。

具体的には、「企業倫理綱領」の人権の尊重とあらゆる差別的取り扱いの禁止に関する条項に従い、社員の人権を尊重した、差別のない健全な職場環境を確保しています。

#### 教育・啓発

コンプライアンスガイドブックに基づき、人権も含めて法令などの社会的規範、社会的良識などについて、全社員への教育・啓発を部門ごとに毎年2回実施しております。

また、内部通報制度として「企業倫理ヘルプライン」を設けて、法令違反や「企業倫理綱領」の違反行為の未然防止に努めています。

### 人材育成

#### 基本的な考え方

澤藤電機は、人材の育成を柱として組織の活性化を図ることを目標に、社員一人ひとりの自主性と創造性を大切にしながら、それが企業の発展に活かされるように能力開発の充実を図っています。

#### 教育・啓発

社員一人ひとりが持ち場・立場での能力を発揮できるように、毎年、各階層別、職能別の教育計画をつくり、新入社員教育、中堅社員研修、新任管理監督者研修、管理者候補を対象としたマネジメント研修、役員を交えた管理者、管理者候補を対象とした研修を実施しています。

また、各社員の自己啓発を促すために、各種通信教育、資格取得支援、講習会・セミナーなどの教育も実施しています。

#### 英会話教室

社内では若手社員を中心とした英会話教室が月1回行われています。1回あたり約1時間、社外より外国人講師を招いて、特に、ビジネス英語のスキルアップを図っています。



授業の様子

### 多様性への取り組み

#### 基本的な考え方

澤藤電機は、性別、年齢、国籍など多様な属性や価値・発想を大切に、多様な人材が活躍できるようにすることが、社員、企業の成長につながると考え、取り組んでいます。

#### 再雇用制度・障がい者雇用の促進

社員の高齢化が進み若年労働者が急速に減少する中で、働く意欲を有する高齢者の知識、技能、経験を最大限に活かす場を提供するとともに、次世代への知識、技術、技能の継承を図ることを目的として、定年退職者の再雇用制度を導入しています。2013年4月からの雇用義務化の法改正にも対応しています。

また、障がい者が安心して働ける職場環境を整備し、障害者雇用促進法に基づき障がい者を雇用しており、雇用率は法定雇用率の基準2.0%を上回る2.39%（2017年度）となっています。

本年度も一層の雇用促進に取り組めます。

#### ■ 再雇用実績

年度	2015	2016	2017
再雇用者数(名)	20	15	22
再雇用率(%)	76.9	75.0	91.7

#### ■ 障がい者雇用実績

年度	2015	2016	2017
雇用率(%)	2.48	2.41	2.39

#### ワーク・ライフ・バランス支援の諸制度

社員の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を可能とする働き方を支援するために諸制度を整備し、社員の支援をしています。

##### ・「フレックスタイム勤務制度」

自立的、効率的な働き方を支援するために、社員が計画的に始業、終業の時刻を決めることができる勤務制度です。

##### ・「育児休業制度」・「育児短時間制度」

育児を支援するために、一定の期間内、育児のための休業および所定内労働時間の短縮ができる制度です。

##### ・「介護休業制度」

介護の必要な家族のいる社員が、家族の介護負担軽減のために、一定の期間内休業できる制度です。

##### ・「ボランティア休業制度」

国、地方公共団体などの社会福祉機関において、社員が社会奉仕活動をする場合に一定の期間内休業ができ、その活動を支援する制度です。

#### ■ 育児支援制度の適用実績

年度	2015	2016	2017
育児休業制度(名)	7	7	9
育児短時間制度(名)	7	6	7



## 社員とともに (3)

### 安全・衛生

澤藤電機は、災害発生のプロセス『災害 = 設備の不安全状態 + 人の不安全行動』をふまえ、リスクアセスメント活動と安全人間づくりに取り組んでいます。また、社員の健康の維持改善に向け、産業医とともに健康増進活動を展開しています。

安全衛生委員会



構内運搬車両オペレータ研修会



役員によるトップ巡視



### 安全理念、推進体制

澤藤電機は、『安全は全ての業務に優先する』を掲げ、安全活動を展開し、『安心して働ける職場環境』をめざしています。労働マネジメントシステムを参考にして安全衛生管理体制を整備し、労使同人数（2018年6月現在64名）で安全衛生委員会を運営しています。

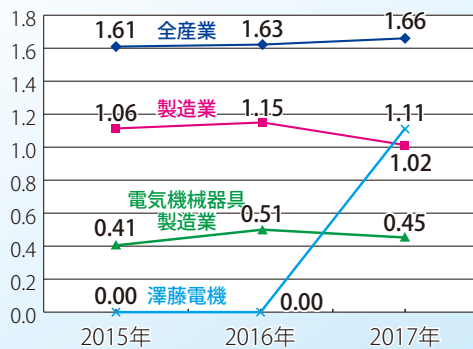
安全衛生委員会の中には、災害予防小委員会、KYT（危険予知トレーニング）推進小委員会、健康増進小委員会、交通安全小委員会、防火予防小委員会の5つの小委員会をおき、計画に沿ってリスク低減活動をしています。

### 安全活動

#### 活動の実績

2017年度における労働災害度数率（休業）はグラフの通りでした。5月と10月に休業災害を発生させていただきました。2件の災害の反省をふまえ、安全基準を作成し、全社一丸となり安全優先の風土を作るべく、活動をしています。

■ 労働災害度数率



$$\text{労働災害度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 100\text{万}$$

#### 交通安全活動

例年実施している全社員を対象とした所轄警察署の講師による安全運転講習会に加え、事故の発生率が高い30歳未満を対象とした運転適性検査を実施しました。また、『構内交通ルールを守れない人は公道でも守れない』という考え方で、構内での速度チェックやルール遵守の意識付け活動に取り組んでいます。



■ 交通安全講習会 受講実績

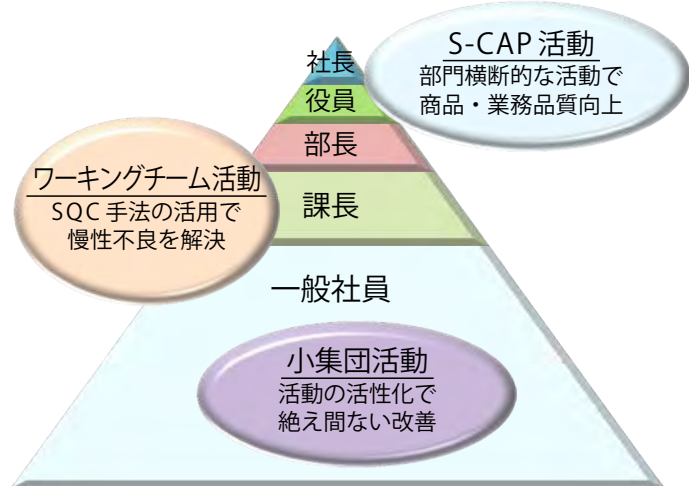
年度	2015	2016	2017
受講者数(名)	723	671	743
受講率(%)	81.2	77.4	80.8

※正社員・有期雇用者・子会社出向社員含む

## 社員とともに（4）

### 全員参加による改善活動

澤藤電機の改善活動は、社長をはじめとした役員、部長、課長、そして一般社員まで、全員参加で行われています。改善活動には、役員・部長を中心とした『S-CAP活動』、部長から一般社員が取り組む『ワーキングチーム活動』、そして、一般社員が中心となって推進している『小集団活動』があります。それぞれの活動の中で、商品品質や業務品質の向上を目指し全員参加の改善を推進しています。



全員参加の活動で、商品品質・業務品質の向上を図る

### S-CAP 活動

**Sawafuji Cross Functional Advanced Project**  
全役員・部門の意思統一による  
生産準備日程の短縮活動



### ワーキングチーム活動

有識者の知恵を活用しSQC手法を積極的に取り入れた品質改善活動



### 小集団活動

QCサークル活動を「サワフジ小集団活動」と称し、問題解決の基礎作り、人財(材)育成の場として活動



### 第3回サワフジ小集団活動改善事例パネル展示会開催

2017年12月11日(月)、12日(火)の2日間、厚生棟・集会室において、第3回サワフジ小集団活動改善事例パネル展示会を開催しました。優秀事例の共有と改善活動に対する意識向上を目的に、社内より13事例、SETより1事例の展示と、日野自動車株式会社より『第7回スタッフ小集団活動/MAST活動パネル展示会』で展示されたパネル10事例を借用し、合計24の事例を展示しました。今回は、社内の運営事例の展示やホームページ閲覧用のパソコンを用意するなど初めての試みを行い、2日間で669名と多くの方に来場していただきました。



会場風景



説明員の説明に耳を傾ける来場者

## 社員とともに (5)

### 社員の健康管理

多面的な健康管理の支援

澤藤電機は、社員一人ひとりの健康を第一に考え、全社で健康に配慮した取り組みを行っています。

#### 健康管理

社員の健康管理のため、法令に基づく健康診断を国内子会社も含め実施しています。また、人間ドック、がん検診などの健康管理も支援しています。

健康診断の結果、従来より実施している産業医の保健指導に加え、健康保険組合より派遣される管理栄養士による、特定保健指導を実施しています。特定保健指導の対象となった人は各自目標を設定して生活習慣の改善に取り組んでいます。

また、社員食堂においては、委託会社の管理栄養士と当社看護師が献立表についての打合せを実施し、栄養バランスを考慮した通常メニューに加え、美味しくてカロリー減のヘルシーメニューも毎日提供しています。

#### ■ 健康診断受診実績

年度	2015	2016	2017
受診者数(名)	900	811	812
受診率(%)	100.0	100.0	100.0

(出向者を除く)

#### 過重労働の抑制

澤藤電機では、健康確保のため、管理監督者を含む全ての従業員を対象に労働時間の見える化を推進しており、厚生労働省の基準超過が認められる場合は、産業医による保健指導等の健康管理措置を講じています。また、労働時間の適正化を管理者に徹底を図るとともに、従業員の健康管理措置の実施状況を経営層に報告し、情報を共有し、対策を講じることで、過重労働の抑制に努めております。

#### 疾病予防の取り組み

疾病予防の取り組みとして、社内報に各種がん検診についてのアドバイスや、ストレス解消法の紹介、歯周病チェックなどを連続で掲載し、啓発に努めています。また、医務室では看護師による相談受付や、自動血圧計を設置していつでも血圧測定ができるようにしています。

#### メンタルヘルス研修

メンタルヘルスケア指針に基づいて、社員自身によるセルフケア、管理監督者によるラインケア、産業医、看護師、社外の専門家によるケアを実施しています。また、メンタルヘルスに対する理解向上を図るため、外部講師による研修を毎年実施しています。

2017年度は、群馬産業保健総合支援センターより講師を招き、管理監督者を対象に、よりよい人間関係の構築・維持のため、自分も相手も大切にする表現方法について理解を深める研修を実施しました。

#### ■ 受講実績

年度	2015	2016	2017
受講者数(名)	675	102	133



メンタルヘルス研修

#### 暑気対策の取り組み

暑気対策の一環として、社員への啓発および熱中症予防策の周知を図るために、スポーツドリンクメーカーの講師による熱中症予防対策セミナーを実施しました。また、夏季限定の対策としてスポーツドリンクの自販機増設を行っています。

#### ■ 受講実績

年度	2015	2016	2017
受講者数(名)	197	151	109



熱中症予防対策セミナー

#### 職場の分煙化

社員の健康管理のため、受動喫煙防止対策として分煙化の推進を行っています。

事務棟・食堂に加え、工場内についても、終日全面禁煙とし、建屋外に喫煙場所を設置し分煙化を実施しています。